

報道関係各位

コロムビアミュージックエンタテインメント、2009 年 3 月期通期連結業績のお知らせ

～構造改革実施、経営体制一新！2009 年度は黒字化へ邁進！～

コロムビアミュージックエンタテインメント株式会社(以下、「当社」、本社:東京都港区、代表執行役社長兼最高執行責任者(COO):原 康晴)は本日、2009 年 3 月期(2008 年 4 月 1 日から 2009 年 3 月 31 日まで)の連結業績が確定しましたのでお知らせいたします。

【2009 年 3 月期通期連結業績】

1. 売上高について

通期連結売上高は、184 億 3 千 2 百万円(前期比 4.1%減)となりました。これは、アニメ・エデュケーショナル作品、特販事業、デジタル事業は前期の実績を上回り、平成 19 年 11 月に買収いたしましたクリエイティヴ・コア株式会社(以下、クリエイティヴ・コア)の売上を通期で計上したものの、J-POP 作品の売上が大型作品の減少とアーティストの絞込みにより減少したためです。

2. 損益について

損益につきましては、デジタル事業の利益は増加したものの、J-POP 作品の売上減少による損益の悪化に加え、クリエイティヴ・コアの業績が低迷したため、営業損失は 9 億 2 千 2 百万円(前期は、7 億 3 千 7 百万円の営業損失)、経常損失は 8 億 9 千万円(前期は、8 億 7 千万円の経常損失)となりました。これに、支払いが不要となった見積り印税の戻入益 4 億 4 千 7 百万円、支払いが不要となった特許料戻入益 1 億 8 千 7 百万円、株式会社ヴィツアーレコーズ・ジャパンとの前払金支払請求訴訟の和解によるライセンス契約整理損の戻入益 7 千 5 百万円を特別利益として計上するとともに、損失の拡大が想定されるアーティスト契約を早期に解約したことによる特別損失 2 億 3 千 9 百万円および転職支援費用 1 億 9 千 5 百万円を特別損失として計上したため、当期純損失は 6 億 3 千 2 百万円(前期は、24 億 1 千 5 百万円の当期純損失)となりました。

【構造改革の実施】

当社は、来期の黒字化を確実なものにするため、グループ全体の構造改革を実施いたします。

1. 演歌・歌謡曲作品、アニメ・エデュケーショナル作品、バレエ・オペラ作品など市場占有率が高く、利益の確保もしくは伸張が十分可能な分野ならびにデジタル事業やゲーム事業など成長が見込める分野に経営資源を集中させます。
2. 組織の簡素化を図るため、営業本部、デジタル営業部、特販事業部、通販事業部を統合したセールス&マーケティング本部を新設いたしました。また、他社とのアライアンスをとりながら新規のデジタル事業を推進するデジタルビジネス開発室を新設しています。

3. 当期において不採算事業の見直しを行い、J-POP アーティストを 28 名から 8 名に絞り込み、アーティスト数にあわせた規模に J-POP 部門の組織を縮小しております。これにより、有望アーティストに集中し、ヒットを創り出す体制が整いました。今後は着実に J-POP 部門の再建を進めてまいります。
4. 関係会社につきましては、コロムビアアーティストマネジメント株式会社が行ってございましたアーティストマネジメント事業をコロムビア本体にて行うこととし、加えて、クリエイティブ・コアの学習用教育ソフト事業を大幅に縮小しました。
5. コロムビアグループの事業の整理統合に伴い、希望退職プログラムおよび派遣社員、業務委託者の削減を実施し、78 名の人員を削減しております。これにより、事業規模と人員規模が適正な形になったと考えます。併せて、役員、社員の報酬、給与カットを実施しています。

来期の黒字化のための施策が整ったのを機に、当社は経営トップの若返りを図り、新たな経営執行体制を構築いたします。平成 21 年 5 月 15 日付で代表執行役社長兼 CEO(最高経営責任者)である廣瀬禎彦が退任し、執行役原 康晴が代表執行役社長兼 COO(最高執行責任者)となりました。新しく社長になりました原 康晴は、リップルウッド社(現アールエイチジェーインターナショナル社)からの資本受入れ後も含め、当社 16 年ぶりの生え抜きの社長であります。これにより社内の結束力が更に強まり、黒字化に向けて確固な経営体制を構築することができるものと考えます。また、CEO は代表執行役会長ストラウス・ゼルニックが兼務いたします。

この結果、収益の黒字化を図ることが十分可能な体制となり、来期の業績目標の達成に向けミュージックエンタテインメント事業の拡大を一層推し進め、売上、利益の確保・向上につなげてまいります。

【2010 年 3 月期通期連結業績予想】

上記、構造改革の実施をふまえ、連結売上高は 185 億円を予想しており、利益につきましては、営業利益 1 億円、経常利益 1 億円を予想しております。当期純利益につきましては、本社移転に伴い有形固定資産やリース物件などの過去に償却した費用の戻入益などを見込み 4 億円を予想しております。

【売上高の貢献主要作品】

<音楽ソフト>

■ 演歌・歌謡曲部門

“氷川きよし演歌名曲コレクション8～玄海船歌～”

“氷川きよし演歌名曲コレクション9～哀愁の湖～”

“浪曲一代”、“哀愁の湖” 「氷川きよし」

“二人の旅路”、“名残りの桜” 「大川栄策」

“石北本線” 「多岐川舞子」

“あじさいの宿” 「若山かずさ」

■ J-POP 部門

“BESTYO(べすちょ)”、“はじめて” 「一青窈」

“マスタッシュ”、“どこ” 「木村カエラ」

“ケモノと魔法” 「原田郁子」

“天才・松山千春のラブバラード”

“旅立ち～足寄より～ ベスト・コレクション” 「松山千春」

■ アニメ部門

“THE IDOLM@STER”シリーズ

“侍戦隊シンケンジャー 主題歌”

「サイキックラバー/高取ヒデアキ/串田アキラ」

“炎神戦隊ゴーオンジャー 主題歌” 「高橋秀幸/Project.R」

■ エデュケーショナル部門

“いないいないばあっ！ こんにちは！ ったら ラッタタン”

“いないいないばあっ！ おひさまとダンス”

「ワンワン、ことちゃん、うーたん」

■ 邦楽部門

“平成二十一年度(第四十五回)コロムビア吟詠コンクール課題吟 牡丹”

“志の輔 らくごBOX(その一)” 「立川志の輔」

■ ジャズ・クラシック部門

“ヴァイオリン・ファンタジー” 「高嶋ちさ子 12人のヴァイオリニスト」

“本田美奈子. クラシカル・ベスト ～天に響く歌～” 「本田美奈子.」

“シヨスタコーヴィチ歌劇「ムツェンスク郡のマクベス夫人」ネーデルラント・オペラ 2006 年”

<クリエイティヴ・コア>

■ カタログ作品

“エンカのチカラ”シリーズ

“ザ・ベスト”シリーズ

”みんなアニメが好きだった“

<映像ソフト>

“いないいないばあっ！ こんにちは！ったら ラッタタン”

“いないいないばあっ！ おひさまとダンス”

「ワンワン、ことちゃん、うーたん」

“BEST VIDEO 1” 「木村カエラ」

“氷川きよしスペシャルコンサート2008 きよしこの夜Vol. 8” 「氷川きよし」

<通販事業>

“河合奈保子 NAOKO LIVE PREMIUM”「河合奈保子」

“昭和カバー名唱集 あの歌この歌流行歌”

“鶴岡雅義 昭和歌謡を弾く” 「鶴岡雅義」

<音楽配信>

“ハナミズキ”、“はじめて” 「一青窈」

“マスタッシュ”、“Jasper”、“memories” 「木村カエラ」

“夏祭り” 「ジッタリン・ジン」

<ゲームソフト>

ニンテンドーDS ソフト

“まめゴマ2 うちのコがイチバン！”

“なかよしオールスターズ めざせ学園アイドル”

“みんなの DS ゼミナール カンタン音楽力”

<クリエイティヴ・コア>

<製造販売受託>

株式会社よしもとアール・アンド・シー様

“放送室”シリーズ 「松本人志・高須光聖」

“陽は、また昇る” 「アラジン」

“バイバイ” 「里田まい with 合田兄妹」

■会社概要

会社名 :コロムビアミュージックエンタテインメント株式会社

所在地 :東京都港区六本木 1-4-33 六本木 21 森ビル

代表者 :代表執行役社長 兼 COO 原 康晴

事業内容:ミュージックソフト等の制作、宣伝、販売および音楽アーティストのマネジメント

資本金 :1,000 百万円

URL: <http://columbia.co.jp>

■本件についてのお問合せ先

コロムビアミュージックエンタテインメント株式会社

経営企画部 PR/ER グループ

TEL 03-3588-2250 FAX 03-3589-5382

email: isawa_tomoko@columbia.co.jp